

CSRマネジメント

CSR活動の考え方と体系

日本ガイシグループは、新たな価値をもたらす製品・サービスの提供を通じてより良い社会環境を実現し、社会的責任を果たすとともに、社会の皆さまからの期待と信頼を獲得したいと考えています。そのために、「NGKグループ企業行動指針」に基づき「CSR活動の推進項目」を定め、さらに毎年「CSRの目標」を策定しています。

企業理念

日本ガイシはより良い社会環境に資する商品を提供し、新しい価値を創造する。

NGKグループ企業行動指針	CSR推進項目	CSRの目標
企業理念を実現するための行動指針	企業行動指針の8項目をCSR活動の推進項目に設定	8項目に沿った詳細な目標。目標ごとに毎年活動計画を策定
I.企業理念の実現 社会の期待と信頼に応える	より良い社会環境に資する商品の提供	<ul style="list-style-type: none"> ●地球環境保全に貢献する製品・サービスの開発、提供 ●安全・安心を実現する製品・サービスの開発、提供 ●より高品質な製品・サービスの実現
	企業情報の開示	<ul style="list-style-type: none"> ●企業情報発信の充実 ●財務報告に係る内部統制のスパイラルアップ
	コンプライアンスの徹底、リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ●NGKグループ企業行動指針の徹底、教育の実施 ●リスクマネジメント体制の強化 ●知的財産権の尊重・保護 ●情報セキュリティの構築、レベルアップ ●独占禁止法・下請法などの取引関連法規の順守 ●輸出管理関連法規の順守
II.企業活動のあり方 高い倫理観に基づき誠実に行動する	人間性の尊重、快適な職場環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・快適な職場環境の維持、レベルアップ ●グループとしての人材開発、人材登用 ●多様な人材活用の実現 ●職場と家庭、子育ての両立支援
	公正、自由、透明な取引の実践	<ul style="list-style-type: none"> ●公正・公平な調達パートナー評価とリソースの複数化徹底 ●CSR調達の推進
	地球環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化防止 ●環境に優しい生産プロセスの導入 ●資源循環の推進 ●グローバル環境管理の強化
III.社会の一員として 社会とともに持続的に発展する	地域社会との協調、社会貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●留学生への奨学、生活支援 ●地域社会・労組・NPOなどと協調した社会貢献活動 ●従業員のボランティア活動に対する支援
	ステークホルダーとのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●お客さま・調達パートナーとのコミュニケーション活動 ●工場見学・オープンハウスなどを通じた地域社会との交流 ●CSRトークライブ(CSR実践に向けた従業員各層との対話)
行動ガイドライン 行動指針に基づき、日々の業務の中で「自分は何を行えばよいか」を示したガイドライン		毎年、計画に応じた活動レビュー

CSR推進項目(マテリアリティ)の設定

企業行動指針の8項目をCSR活動の推進項目に設定し、それぞれに具体的な計画・目標を定めて活動を行っています。社会の持続的な発展を目指すとともに、さまざまなステークホルダーの要請に配慮していくためです。毎年、目標に対する達成状況を検証し、取り組みの継続的な改善を図っています。

マテリアリティ設定プロセス

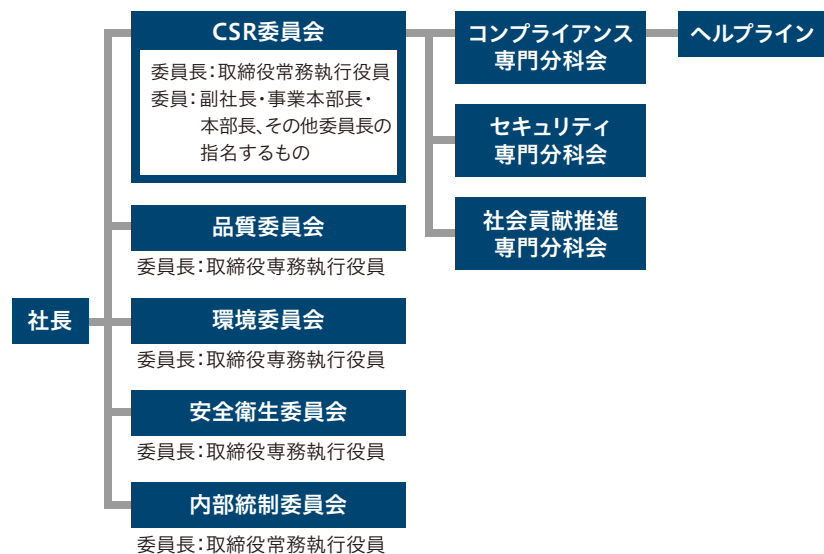
CSR推進項目の設定に当たっては、社会の動きやニーズをふまえた情報開示・活動体制の整備を行いつつ、企業理念や企業行動指針と一体となった理念体系を構築すべく取り組んできました。

今後もこの考え方のもと、ステークホルダーのご意見を参考に、時代の要請を的確に捉えていきます。

CSR推進体制

CSR活動の推進に当たり、CSR委員会、環境委員会、品質委員会、安全衛生委員会、内部統制委員会の各委員会を設置しています。

CSR委員会では、法令・企業倫理の順守に関する事項について、社長とCSR委員長の決定を助けるために必要な審議を行っています。また、社に重大な影響を及ぼす恐れがあると判断される事項への対応や、各専門分科会の推進計画の内容検討と評価、委員長が重要と判断したCSR関連事項の審議などを、幅広く行っています。



人権への取り組み

日本ガイシグループは、企業行動指針に「人間性の尊重」を掲げ、国内のグループ会社の全従業員が閲覧可能なイントラネットを通じて、国連の「世界人権宣言」と「ビジネスと人権に関する指導原則」の周知を行っています。また、人権セミナーの開催など、人権擁護に対する啓発を積極的に行っています。

責任ある資源、原材料調達

人権侵害や貧困などの社会問題を引き起こす原因となり得る原材料(例:紛争鉱物[※])の使用による地域社会への影響を考慮した調達活動を行うものとし、懸念のある場合には使用回避に向けた施策を行っています。

※コンゴ民主共和国と隣接諸国から産出されるスズ、タンタル、タングステン、金の4種鉱物で、かつ同地域の武装勢力の資金源となっている鉱物。

SDGs についての考え方

日本ガイシグループは、国連が提唱する企業の自主行動原則「グローバル・コンパクト」に署名しています。国連が採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」(Sustainable Development Goals)などを指標に、事業活動を通じて幅広く社会課題の解決に貢献することが、重要な社会的責任であると考えます。

	目標	日本ガイシグループの提供価値
	貧困をなくそう	<ul style="list-style-type: none"> 適切な雇用を創出し、貧困を終わらせることに貢献します 気候変動対策により災害を低減します
	飢餓をゼロに	<ul style="list-style-type: none"> 日本ガイシの製品がつくる社会インフラは、雇用の機会への平等なアクセスを確保します
	すべての人に健康と福祉を	<ul style="list-style-type: none"> 自動車排ガス浄化用セラミックスは排気ガスをクリーンにします
	質の高い教育をみんなに	<ul style="list-style-type: none"> 適切な雇用の創出により、教育への平等なアクセスを得られるようにします
	ジェンダー平等を実現しよう	<ul style="list-style-type: none"> 日本ガイシの製品がつくる社会インフラは、女性の能力強化を推進します 女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保します
	安全な水とトイレを世界中に	<ul style="list-style-type: none"> セラミック膜フィルターは、安全性の高い水を提供します セラミック膜フィルターは、排水を浄化します
	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	<ul style="list-style-type: none"> がいしは、電力の安定供給に欠かせないものです NAS®電池は、再生可能エネルギーの安定供給を実現します 自動車排ガス浄化用セラミックスは排気ガスをクリーンにし、化石燃料のクリーンな利用を実現します
	働きがいも経済成長も	<ul style="list-style-type: none"> 適切な雇用を創出し、従業員に働きがいのある職場を提供し、経済成長に寄与します
	産業と技術革新の基盤を つくりよう	<ul style="list-style-type: none"> 電子・電気機器用セラミックスは、安価で普遍的な情報通信技術を支えます 半導体製造装置用セラミックスは、生活の基盤となる半導体生産を支えます 金属製品は、携帯電話や、自動車、産業機器など生活を支える機器に幅広く活用されています
	人や国の不平等をなくそう	<ul style="list-style-type: none"> 差別行為の発生を防止し、違反行為があった場合には迅速に適切な対応をとります

	目標	日本ガイシグループの提供価値
	住み続けられるまちづくりを	・NAS電池は、都市のエネルギーマネジメントを革新し、持続可能な都市をつくれます
	つくる責任つかう責任	・セラミックスの原料となる天然資源を効率的に利用します
	気候変動に具体的な対策を	・NAS電池は、再生可能エネルギーの安定供給を実現し、気候変動対策に貢献します
	海の豊かさを守ろう	・セラミック膜フィルターは、排水を浄化し、海洋汚染を防止します
	陸の豊かさを守ろう	・社有地の生物多様性保全を進めています
	平和と公正をすべての人に	・各国、地域の法令やルールを守り、国際間の取り決めに尊重してコンプライアンスを徹底します
	パートナーシップで目標を達成しよう	・効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進します

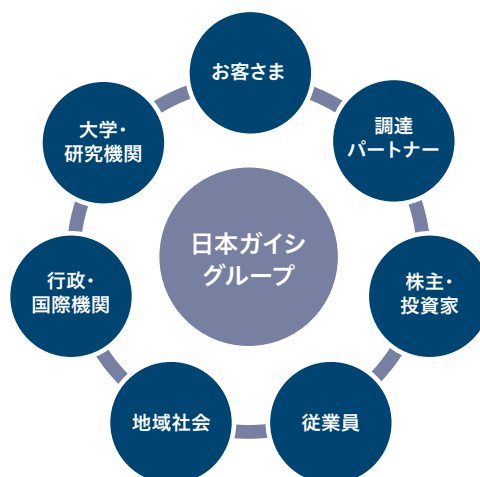
対象とするステークホルダーと対応方針

日本ガイシグループは、お客さま、取引先、株主・投資家、地域社会の皆さま、行政・国際機関、大学・研究機関、従業員に対する当社グループの理解を促進するとともに、全てのステークホルダーとの対話を通じて活動や取り組みを継続的に改善しています。

前年度に続いて2017年度も、広く消費者に向けて「CSRモニターアンケート」を、従業員に向けては「CSR推進項目期待度アンケート」を実施しました。

アンケートを集計した結果、一般消費者が興味を持った日本ガイシグループのCSR活動は「環境」「地球環境の保全」で、従業員が期待するCSR活動は「より良い社会環境に資する商品の提供」、続いて「人間性の尊重、快適な職場の確保」であることがわかりました。

アンケートを通していただいたご意見は次年度以降のCSR報告と活動の改善に生かしていきます。



お客さまとの関わり

お客さまからの信頼を獲得・維持するために、長期的かつグローバルな視点に立ち、地球環境の保全と社会の安全・安心を実現する商品やサービスの提供を通じて、新たな価値の創造に取り組みます。

取引先との関わり

日本ガイシグループは、「門戸開放」「共存共栄」「社会的協調」を調達の基本方針として、サプライチェーンを構成する調達パートナーの皆さまとともに公正、自由、透明な取引に努めています。また、「取引先ヘルプライン」を設置し、重要なお問い合わせを見逃さずに対応することで、公正な取引関係の維持に努めています。

株主・投資家との関わり

経営情報、財務情報、商品・サービスに関する情報など、適時適切な情報開示に努めるとともに、対話を通じて期待にお応えし、企業価値の向上を目指します。

地域社会との関わり

各国、地域の社会的課題に関心を持ち、地域に信頼される企業市民であることを目指して、地域のニーズに応じた社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

行政・国際機関との関わり

ともに社会課題解決を目指す主体として協力しあうため、国際的イニシアチブなどへ積極的に参加しています。

大学・研究機関との関わり

産学連携による研究・教育活動を通して、科学技術の発展や社会課題解決に貢献する技術の開発などを進めています。

従業員との関わり

日本ガイシグループは、従業員の人間性を尊重し、安全で働きやすい職場環境づくりに努めています。また、一人ひとりが公平な処遇のもとで能力を最大限発揮できるよう、人材の成長を支援します。

<ステークホルダー・エンゲージメントの実施状況>

ステークホルダー	目的	コミュニケーション手段	回数
お客さま (一般消費者含む)	CS向上 品質向上	公式HP	随時
		お問い合わせ窓口	随時
		展示会への参加	年数回
		オープンイノベーションの実施	随時
取引先	公正、自由、透明な取引の実現 取引先企業と情報交換 より良いサプライチェーンの構築	業績説明回	年1回
		取引先ヘルプライン	随時
		国内外の取引先個別訪問	随時
株主・投資家	企業価値向上	株主総会	年1回
		説明会	国内・海外それぞれ年2回
		訪問・個別面談	随時
		IR関連イベントへの参加	年1回
		社会的責任投資(SRI)への対応	随時
		公式HP	随時
地域社会	信頼される企業市民として 地域に根ざす	NPOなどとの協働活動	随時
		従業員のボランティア活動	随時
		労働組合と協調した社会貢献活動	随時
		工場見学/イベントへの招待	随時
行政・国際機関	社会課題解決への取り組み促進	国際的なイニシアチブへの参加	随時
大学・研究機関	科学技術の発展 社会課題解決に貢献する技術の開発	共同研究	随時
従業員	従業員の人間性尊重 安全で働きやすい職場づくり 職場環境、ESの調査 理念・方針の浸透	社内報	月1回
		英語版社内報「Global MIZUHO」	年2回
		ビデオニュース	月2回
		CSRトークライブ	年10回程度
		社内イントラネット	随時
		労使懇談会/労使協議会	年1回/年2回
		組織活性化調査	2年に1回
		CRS(Corporate Risk Survey)調査	年1回
		CSR推進項目期待度アンケート	年1回
		ヘルプライン	随時
ホットライン	随時		